

# 複数の資料を比較・関連付けて、より広い視野から考察し表現する力の育成

—資料の読み取りを支援し、思考の広がりを促すワークシートの工夫—

特別研究員 社会科班 吉田智行（中学校教諭）

## 生徒の実態

- 複数の資料を比較・関連付けて考えることに課題がある。
- 既習事項の定着が不十分であり、資料の読み取りが浅い。

## はばたく群馬の指導プラン

- 比較・関連付けて考え、社会的事象の特色や意味を理解すること。
- 資料から情報を読み取り、活用すること。

ワークシート1 組番名前  
 <交通網の発達、人々の生活にどのような変容をもたらしたのか。>

本時の学習の「ねらい」に対し予想を立てる。

## 個人への支援

読み取る資料を拡大提示し、個人で行う資料の読み取りを「支援」する。



各班に1つの資料の読み取りを任せ、責任を持って全体へ説明する。

## 集団での思考を支援

ワークシート2-1 教科書P.182 資料②について | | 班  
 ・2010年と1960年とを比較して、  
岡山市と各都市の鉄道による所要時間の変化は、東京へは、約( )分の1の時間に短縮され、広島へは、約( I )分の1の時間に短縮された。  
 それには、( II )の開通が考えられる。  
 また、四国の香川県へは、( )分の1以下の時間に短縮された。  
 それは、( )の開通により、陸上交通で結ばれた結果だと考えられる。

## 思考の広がり

個人での読み取り、班での読み取りの確認を経て、根拠を持って本時がまとめられる。

## ワークシート2 (指令カード)

- ・資料の読み取りを「支援」し、班活動の目的を明確にする。(このワークシートが発表原稿にもなり、比較・関連付けに効果がある。)
- ・IやIIのような既習事項を活用した読み取りを行えるように、意図的な仕掛けを入れる。

## <○成果と●課題>

- ワークシート1及び2の活用は、生徒の話し合い活動を活性化し、より広い視野から資料を読み取ることにつながり思考の広がりが見られた。
- 本時のねらいに収束するように意識しすぎて、生徒の主体性が損なわれないような、穴埋め箇所の設定が課題である。

